

令和3年3月26日

総務部総務課長 様

生涯学習課長 竹内 克之

# 会 議 要 録

会 議 名		令和2年度第2回西予市放課後子ども総合プラン運営委員会
日 時		令和3年3月22日(月) 14:00~15:50
場 所		西予市教育保健センター 4階 大ホール
出席者	委 員	会長：河野直樹、副会長：大塚晶司、委員：滝澤治、萩森英俊、浦部勝二、山下由紀江、福岡順子、三好仁美、白武和嘉子、樋口志保、松本由美子、山田里香、宇都宮伸郎、木綱恵美、前田寛明（代理）、古森波子、藤原由美、奥山孝司（代理）、宮本純夫、清家久美子（代理） 計20名
	その他	教育部長：宇都宮裕、松田禎子、山崎徳博（代理）、滝澤洋、竹内克之、佐藤陽一郎、井関修三、宇都宮博、山下元紀、中村奈央子、徳永洋亮、兵頭祥平、二宮裕一、末光孝紘、赤松和也、菊池由真
	事務局	生涯学習課 中山佑司 計17名
議 事 内 容 (要 旨)		
議事内容(要旨)		<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 河野直樹会長</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 令和2年度放課後児童健全育成事業の実施状況について子育て支援課説明。</p> <p>各放課後児童クラブ報告。</p> <p>滝澤委員…学童保育施設の整備の説明を受けて、小中学校も玄関付近に手洗いを設置したいと感じた。新型コロナウイルス感染症対策として、今後考えていく必要がある。</p> <p>河野会長…学校施設及び学童施設の要望である。てっぺん広場の日曜や祝日、長期休業中の対応の中身を再度お願いしたい。</p>

てっぺん広場奥山代理…日曜・祝日・長期休業中の対応について、平日以外も受入の要望があり、市内全域からの受入を計画している。今年度は登録児童 16 名中 6 名。長期休業中 6 名と、まだまだ受入可能。問い合わせに柔軟に対応したい。

河野会長…すこやか児童クラブからは児童クラブ間での交流を深めたいとの意見があったが、事務局で機会を考えてほしい。

(2) 令和 2 年度学校・家庭・地域連携推進事業の実施状況について事務局（生涯学習課）説明。  
各事業担当報告。

浦部委員…放課後児童クラブと放課後子ども教室の違いは？田之筋のように多く活動している教室もある。近くに明下田クラブの学童施設もある。この 2 施設をどう区別したら良いか。保護者はどのように選ばいいか。

中山…それぞれ所管が文科省、厚労省の違いのほか、共働きによって家で子どもを見ることができない方が利用するのが児童クラブ。放課後子ども教室はあらゆる子どもが参加できる教育の場である。利用料の有無や開設日数にも違いがある。保護者ニーズによる。

竹内課長…毎日安心して面倒を見てもらうなら児童クラブを登録いただくことになる。子ども教室の回数で構わない家庭は子ども教室を選択するところもある。

河野会長…田之筋放課後子ども教室は、地域づくりの一環で子育てに取り組まれている。児童クラブは毎日、平日の子どもの居場所づくり。国から放課後子ども総合プランの方向性が示され、それぞれの市町での取組が始まった。西予市においては学校の余裕教室の活用を提案したが、現状は難しく公民館等を活用してきた経緯がある。今年、コロナ禍で事業ができなかったこともあるが、だんだんと充実してきている。

	<p>(3)「新・放課後子ども総合プラン行動計画(案)について 事務局(生涯学習課)説明</p> <p>河野会長…国から一体型を推進するよう示されているが、西予市には西予市の事情がある。</p> <p>てっぺん広場奥山…将来的には学校施設内に一体型を進める方向性か。</p> <p>河野会長…今までの経緯では学校施設内での取組は難しい。宇和町、三瓶、野村小学校は別として、他の学校は1学級分の教室しか作られていない。学校の教育活動の中で教室が必要となっている。余裕教室の活用については懸案事項としてこの会の中で話を進めなければならない。</p> <p>竹内課長…基本方針の最後に注釈で一体型、連携型の説明を入れている。連携型であればアイデアで実施もできるが、一体型となるとハード面も問題になってくる。運営委員会で意識を持ち、ハードが整えばすぐスタートを切るつもりでこの計画を作る。</p> <p>浦部委員…一体型を実施する上で課題が2つあり、本校(明浜小学校)に余裕教室はあるが、職員の勤務終了時間が16時30分であり、それ以降をどう対応するか、放課後の責任体制が課題である。学校職員の対応方法や移動範囲について、明確化すればできるのではないかと思う。</p> <p>河野会長…第1回の会議から校長会から上がってきた意見である。放課後の事業に対する責任を学校は持てない、教職員の仕事が増えるのではないか、すみ分けをしてどのように解決してくのがこの会議の課題。市内各地にハード面では施設ができているが、検討の余地はある。待機児童ゼロの現状を踏まえると概ね子どもの居場所づくりはできている。</p> <p>滝澤委員…明浜中学校に放課後児童クラブを作る際に携わった。小学校に余裕教室がなく、中学校に打診があった。施錠管理や火災通報、電気代、LANケーブル、電話線など色々な検討事項があり、一つずつ話し合った。明浜中学校では教職員が施錠を気にすることもないし、電気</p>
--	--

代やガス代も別である。教育総務課とも相談を重ねて設計した経緯がある。また、GIGAスクールにより、各校パソコン教室が空き、配置換えや動線を考えれば、施錠などハード面も解決するのではないかと。

竹内課長…学校から余裕教室と判断される教室が1つできたと言っていたときから、すぐ一体型のスタートが切れるわけではなく、その時点で、やっと様々なハードルをクリアするための協議が始められるようになると受け止めている。全国に成功事例はあるが、本市の地域や学校に合うか同様のことができるか、余裕教室があってもできないこともありえるかもしれない。その地域や学校に応じた判断をしていく必要がある。

のむらキッズ古森委員…西日本豪雨で被災した野村保育所に学童施設をお貸しするため、9～12月まで野村小学校教室をお借りして運営した。図書室と家庭科室と会議室の3つの部屋を貸していただいた。土曜日に学童は開けるため、鍵を預かった。簡易的なインターホンを設置し、保護者の送迎がある度、3階を行き来する煩わしさはあったものの、4カ月間野村小学校で過ごすことができた。児童にも移動範囲はここからここまでときちんと説明して行った。色々な問題点も出てくるが学校と児童クラブ・子ども教室が歩み寄りながら解決していかなければならない。

河野会長…状況に応じて学校と相談しながら子ども中心に方策を考えなければならない。

河野会長…西予市新・放課後子ども総合プラン行動計画（案）を承認いただけるか。委員から異議なし。承認。

#### （４）その他

河野会長…委員や出席者に異動があると思うが、後任への引き継いでいただき、今後も建設的な会としたい。

４ 閉会 15時50分

